

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公開番号】特開 2001-340565 (P2001-340565A)
 【公開日】平成 13 年 12 月 11 日 (2001.12.11)
 【出願番号】特願 2000-161840 (P2000-161840)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 1 7
A 6 3 F	7/02	3 1 1 A
A 6 3 F	7/02	3 1 4
A 6 3 F	7/02	3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 5 月 23 日 (2006.5.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技盤上に球を打ち出す遊技で、球が落下する途中で遊技盤上にある各種役物に入賞すると、遊技者に賞球を払い出すなど所定の利益を付与する遊技機において、

球が入賞可能な始動入賞口と、球が通過可能な通過入賞口と、開閉可能な可変入賞装置と、表示内容が変化可能な表示装置と、遊技の進行を制御する遊技制御装置とを有し、

前記可変入賞装置は、その入賞口への球の入賞が困難な通常の閉状態と球の入賞が容易な開状態とに開閉可能な条件変更機構を備え、前記入賞口内の一部に特定領域が設けられており、

前記表示装置では、所定時間にわたり表示内容が変化した後実行結果が停止表示される表示変動が実行され、

前記遊技制御装置は、主開閉制御手段と表示制御手段と副開閉制御手段とを少なくとも備え、

前記主開閉制御手段は、前記始動入賞口に球が入賞した場合に、前記可変入賞装置の条件変更機構を開状態に一時的に変位させる初期開閉動作を実行し、かつ該初期開閉動作中に、前記特定領域に球が少なくとも 1 個入賞すると、前記条件変更機構を再び開状態に変位させる継続開閉動作を実行し、かつ該継続開閉動作中に、前記特定領域に球が少なくとも 1 個入賞することを条件に、前記継続開閉動作を所定の最大継続回数を限度に繰り返し実行し、

前記表示制御手段は、前記通過入賞口への球の通過に基づき、前記表示装置における表示変動を実行し、

前記副開閉制御手段は、前記表示変動の実行結果が当たり態様に確定した場合に、前記主開閉制御手段による制御とは別に、前記可変入賞装置の条件変更機構を開状態に変位させることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記始動入賞口は複数設けられており、

前記主開閉制御手段は、球が入賞した各始動入賞口の種類に応じて、前記可変入賞装置の初期開閉動作で条件変更機構を開状態に変位させる所要時間ないし回数を異ならせるこ

とを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技制御装置は権利保留手段を備え、

前記権利保留手段は、前記通過入賞口を球が通過した時点で、前記表示変動中であるか否かを判断し、該表示変動中であつた場合に新たな表示変動の実行を、所定回数を限度に一時保留することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

[3] 前記遊技制御装置は権利保留手段 (1 2 1) を備え、

前記権利保留手段 (1 2 1) は、前記通過入賞口 (2 4) を球が通過した時点で、前記表示変動中であるか否かを判断し、該表示変動中であつた場合に新たな表示変動の実行を、所定回数を限度に一時保留することを特徴とする [1] または [2] 記載の遊技機 (1 0) 。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】